

## 平成 24 年度事業報告

本報告は、定款第 39 条に基づき監事の監査を受け平成 25 年 4 月 27 日の臨時理事会にて承認を得たものである。

### 公益社団法人日本栄養・食糧学会 (平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日) 事業報告

#### <概要>

平成 23 年 9 月 1 日の公益社団法人認定を受け、設立事業年度の各事業を引き継ぎ、平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の事業をスタートさせた。5 月 18 日に社員総会を開催し、設立事業年度決算書の件、理事・監事選任の件等を決議するとともに、平成 24 年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件等の報告を承認した。設立年度事業報告書は 6 月 18 日内閣府に送付し、指摘・修正を経て提出を完了させた。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1 事業）として、以下を行った。東北支部の担当による第 66 回年次大会（宮城県仙台市：主会場・東北大学、会頭・駒井三千夫東北大学大学院教授）は、東日本大震災の影響による会場の一部変更も余儀なくされたが、特別講演、国際シンポジウム、市民公開講座を含め、予定通り開催された。また、第 67 回年次大会については中部支部担当（愛知県名古屋市：主会場・名古屋大学、会頭・下村吉治名古屋大学大学院教授）で準備が行われている。支部事業については、全支部において、相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。国際的活動については、本学会が主催する第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN、平成 27 年に横浜市での開催を予定）の組織委員会が中心となり、関係機関と協働して、会場、運営、プログラム等の準備を行っている。また、第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN、平成 33 年開催予定）を日本に誘致するため、日本学術会議 IUNS 分科会に協力して立候補の手続きを行った。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公 2 事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（65 巻 2 号～6 号、66 巻 1 号）し、欧文誌 JNSV 誌刊行においても定期的に出版（Vol. 58-No. 2～No. 6、Vol. 59-No. 1）した。

日本栄養・食糧学会あり方検討ワーキンググループを平成 24 年度からあり方検討委員会に発展させ、本年度は 4 回開催された。利益相反（COI）に関する体制の見直し、他学会との連携のあり方、産学連携の進め方、引用・添削許可基準、会員拡大の方策等について討論され、それぞれ理事会に案件として提出され、学会運営上の大きな成果が上がったと言える。利益相反（COI）については、指針・細則を決定し、試行を行って会員からの意見募集（パブリックコメント）を実施した。寄せられた意見を考慮し、当学会の状況により相応しい内容に修正すべく利益相反（COI）委員会および理事会で改訂を検討することとした。

#### I 会員の動き

##### 1) 会員の状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	39 名
終身会員	129 名
正会員	3224 名
学生会員	838 名
団体会員	209 件
賛助会員	62 件（74 口）

##### 2) 平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）物故会員（敬称略）

終身会員：藤野 安彦（23 年度逝去）、松村 勇一、泉谷 希光、佐伯 芳子、市川 富雄、三好 保、渡邊 篤二  
正会員：広瀬 正義、玉木 七八、山西 敦之、小林 士朗

##### 3) 支部別会員数

会員種別 支部名	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	3 (± 0)	113 (− 1)	46 (+ 6)	11 (± 0)	1[1] (± 0)
東北支部	1 (+ 1)	7 (+ 1)	180 (− 2)	58 (+22)	13 (± 0)	0[0] (± 0)
関東支部	20 (± 0)	50 (± 0)	1240 (−29)	267 (− 5)	90 (− 3)	48[60] (+ 3)
中部支部	4 (± 0)	12 (± 0)	376 (−16)	106 (+ 6)	24 (− 1)	3[3] (+ 0)
近畿支部	6 (+ 1)	39 (± 0)	654 (−11)	201 (+ 9)	32 (− 1)	8[8] (± 0)
中国・四国支部	2 (+ 1)	9 (− 1)	322 (− 4)	96 (−16)	26 (± 0)	2[2] (± 0)
九州・沖縄支部	5 (+ 1)	9 (+ 1)	331 (− 4)	64 (− 6)	13 (− 2)	0[0] (± 0)
海外	1 (± 0)	0 (± 0)	8 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計	39 (+ 4)	129 (+ 1)	3224 (−67)	838 (+16)	209 (− 7)	62[74] (+ 3)

( ) 内は平成 24 年 3 月 31 日会員に対する増減を示す。(平成 25 年 3 月 31 日現在)

## II 各種事業活動の推進報告

### <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化（公1事業）>

#### 1) 大会事業

(1) 第66回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 駒井三千夫 東北大学大学院教授）

平成24年5月18日（金）～20日（日）宮城県仙台市

##### \*招待講演

「Current diet and nutrition status of Chinese population」

Prof. Xiaoguang Yang

(Vice President of Chinese Nutrition Society)

##### \*特別講演

「肝臓病の栄養治療」

武藤 泰敏（岐阜大学名誉教授、

日本健康・栄養システム学会理事長）

「エイジングと栄養」

木村 修一（東北大学名誉教授、

加齢・栄養研究所所長）

「脂質栄養学の課題」

菅野 道廣（九州大学・熊本県立大学名誉教授）

「食品タンパク質から派生する生理活性ペプチドの多様性—人乳由来ペプチドを中心に—」

吉川 正明（(財)生産開発科学研究所、

京都大学名誉教授）

##### \*教育講演

「調理行為と脳活動」

川島 隆太（東北大学大学院）

「栄養疫学におけるシステムティックレビュー」

佐々木 敏（東京大学大学院）

「仙台市児童・生徒の身長・体重の推移—1934年～2011年—」

黒川 修行（東北大学大学院、宮城教育大学）

「栄養学・食糧学研究のための実践統計検定法」

池田 郁男（東北大学大学院）

##### \*国際シンポジウム

「Amino acid nutrition and the integrated stress response」

Tracy G. Anthony (Indiana University School of

Medicine—Evansville)

「Impact of amino acids and peptides on inflammatory bowel disease」

Yoshinori Mine (University of Guelph)

「Role of protein and phosphorus restriction in chronic kidney disease」

Eiji Takeda

(University of Tokushima Graduate School)

\*シンポジウム 11 テーマ

\*サテライトシンポジウム 1 テーマ

\*市民公開講座 1 テーマ

一般講演 587 題

参加者数 1784名（内 非会員 396名）

#### (2) 支部事業

##### ①北海道支部

\*第42回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

平成24年10月27日（土） とかちプラザ（帯広市）

シンポジウム「桐山修八先生追悼シンポジウム」

「環境汚染物質の代謝と食物繊維：桐山先生とのつながり」

池上 幸江（大妻女子大学名誉教授）

「レジスタントスターチ・タイプ4の栄養・生理機能」

海老原 清（愛媛大学）

「素材からのアプローチと産物からのアプローチ」

坂田 隆（石巻専修大学）

「難消化性ペプチドの話—オリゴメチオニンから消化管ホルモン分泌ペプチドへ」

原 博（北海道大学）

「2型糖尿病の遺伝因子と食事因子の解析」

堀尾 文彦（名古屋大学）

「食物繊維の新機能発見—大腸発生H2研究を通して桐山先生から教えられたアウフヘーベンの体現」

西村 直道（名寄市立大学）

参加者数 61名（内 非会員 40名）

一般講演 10題

##### ②東北支部

\*第46回日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成24年11月17日（土） 山形大学 農学部（3号館）

公開シンポジウム「米の利用技術の発展と健康への期待」

「イネのメタボローム解析」

及川 彰（山形大学）

「米糠由来物質の抗メタボリックシンドローム作用」

白川 仁（東北大学大学院）

「米粉を使いこなすためのポイント～第2世代・第3世代米粉～」

三浦 靖（岩手大学）

参加者数 110名（内 非会員 40名）

一般講演 15題

##### ③関東支部

\*第90回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成24年10月13日(土) 女子栄養大学 栄養学部 坂戸キャンパス  
シンポジウム「一次予防における栄養学の挑戦」

「葉酸と認知症予防」

香川 靖雄 (女子栄養大学)

「時間栄養学からみた食と睡眠」

堀江 修一 (女子栄養大学)

「慢性腎臓病と栄養食事療法」

本田 佳子 (女子栄養大学)

「免疫疾患と食事」

林 修 (女子栄養大学)

参加者数 77名(内 非会員 46名)

\*第15回脂質栄養シンポジウム

平成25年1月14日(月・祝日) すみだ産業会館(サンライズホール)  
シンポジウム「抗酸化食品の健康価値」

「抗酸化食品の健康価値」

板倉 弘重

(茨城キリスト教大学名誉教授)

「改めてビタミンCを考える」

倉田 忠男 (新潟薬科大学)

「野菜の摂取が血中酸化ストレス度及び抗酸化力に及ぼす影響」

三浦 理代 (女子栄養大学)

「コーヒー成分による薬理効果」

岡 希太郎 (東京薬科大学名誉教授)

参加者数 128名(内 非会員 93名)

\*第91回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

平成25年2月16日(土) 東京大学 農学部 弥生キャンパス  
シンポジウム「腸管吸収研究の最近の話題」

「コレステロール・脂溶性ビタミンの腸管吸収機構」

高田 龍平 (東京大学医学部附属病院)

「水溶性ビタミンの腸管吸収機構」

井上 勝央 (名古屋市立大学大学院)

「ポリフェノールの腸管吸収および栄養食品成分吸収との相互作用」

小林 彰子 (東京大学大学院)

「鉄の腸管吸収調節 -鉄摂取の最適濃度を探る-

篠田 粧子 (首都大学東京大学院)

「糖質の腸管吸収調節 -食品成分による制御-

薩 秀夫 (東京大学大学院)

参加者数 129名(内 非会員 72名)

④中部支部

\*第63回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成24年7月7日(土) 名古屋大学 農学部  
公開シンポジウム「栄養学研究と実験動物 -最新の研究動向と応用例-

「栄養学研究を支えるラットリソース」

庫本 高志 (京都大学大学院)

「マウス全遺伝子機能解析プロジェクトとマウスクリニク-マウス表現型解析の標準化の潮流-

若菜 茂晴 ((独)理化学研究所)

「食事性高コレステロール血症ラットの責任遺伝子の解析」

佐藤 匡央 (九州大学大学院)

「脊椎動物の季節適応機構:比較生物学のすすめ」

吉村 崇 (名古屋大学大学院)

参加者数 53名(内 非会員 21名)

\*第64回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成24年12月15日(土) 名古屋大学 農学部

参加者数 60名(内 非会員 23名)

一般講演 13題

⑤近畿支部

\*第51回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成24年10月20日(土) 甲子園大学  
特別講演「Translational Nutrition -食品開発と機能性-

「食品の免疫調節作用」

上野川修一 (東京大学名誉教授)

「腸内細菌を活用する機能性食品の開発と応用」

浅田 雅宣 (甲子園大学)

「機能性食品の臨床的活用事例について-免疫調整作用を有する機能性食品を中心として-

幣 憲一郎 (京都大学)

参加者数 271名(内 非会員 26名)

一般講演 71題

\*第3回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成25年2月23日(土) 帝塚山大学 学園前キャンパス  
日本栄養改善学会近畿支部と共催

Human Nutrition -糖質摂取について考える-

「血糖値制御のための糖質系食品素材の開発」

徳安 健 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所)

「大豆配合焼き菓子とグリセミック・インデックス」

木村 弘之  
(大塚製薬株式会社佐賀栄養製品研究所)

「糖尿病療養指導における食事療法~科学的データを管理栄養士の立場から活用するには~」

吉内佐和子 (関西医科大学附属枚方病院)

「糖尿病予防をめざした無作為割付比較試験が教えるもの 日本糖尿病予防プログラム(JDPP)の結果より」

葛谷 英嗣 (康生会武田病院)

参加者数 51名 (内 非会員 16名)

⑥中国・四国支部

\*第45回日本栄養・食糧学会中国・四国大会

平成24年11月17日(土)～18日(日) 愛媛大学 農学部

特別講演 I

「消化吸収に関わる消化管ホルモン」

松浦 文三 (愛媛大学)

特別講演 II 「栄養学食品学の意義を考える」

「食品における機能性成分を求めて」

辻 英明 (岡山県立大学)

「時間栄養学の裏話とこれから」

加藤 秀夫 (県立広島大学)

「ルミナコイド研究の課題とこれから」

海老原 清 (愛媛大学)

参加者数 81名 (内 非会員 0名)

一般講演 21題

\*公開講演会

平成25年3月2日(土) 徳島大学 蔵本キャンパス 長井記念ホール

テーマ「栄養学をいかにして社会へ還元するか」

「PDCA サイクルによるスポーツ選手の栄養サポート」

上西 一弘 (女子栄養大学)

「病院の管理栄養士にできること！」

栢下 淳子 (小松島日赤病院)

「食物アレルギー患者への支援について～大学、NPO法人、病院との連携」

妻木 陽子 (広島女学院)

参加者数 71名 (内 非会員 53名)

⑦九州・沖縄支部

\*公開講演会

平成24年7月14日(土)九州大学 農学部

「機能性食品因子を感知するしくみ」

立花 宏文 (九州大学)

「最近の大豆たんぱく質研究の動向」

今泉 勝己 (九州大学)

参加者数 32名 (内 非会員 0名)

\*第66回日本栄養・食糧学会九州・沖縄大会

平成24年9月28日(金)～29日(土) 鹿児島大学稲盛会館、鹿児島大学農学部

日本農芸化学会西日本支部と合同大会

シンポジウム

「焼酎の香りを科学する」

高峯 和則 (鹿児島大学)

「泡盛と黒麹菌～ルーツ・複菌麹・細胞壁～」

渡邊 泰祐 (琉球大学)

「粕からエキスへ～サツマイモ焼酎粕のビフィズス菌増殖効果及び免疫調整作用～」

侯 徳興 (鹿児島大学)

「発酵と工学 –その研究の醍醐味–」

園元 謙二 (九州大学)

特別講演

「好熱菌由来の極限酵素の機能・構造解析と応用」

大島 敏久 (九州大学大学院)

特別セミナー

「農芸化学・栄養学・食糧学のための実践統計検定法」

池田 郁男 (東北大学大学院)

参加者数 323名 (内 非会員 213名)

一般講演 142題

## 2) 大会事業準備

(1) 第67回日本栄養・食糧学会大会の開催 (会頭 下村 吉治 名古屋大学大学院教授)

平成25年5月24日(金)～26日(日) 愛知県名古屋市

\*招待講演 (予定) 2題

\*特別講演 (予定) 2題

\*教育講演 (予定) 8題

\*シンポジウム (予定) 10テーマ

\*サテライトシンポジウム (予定) 1テーマ

\*市民公開講座 (予定) 1テーマ

一般講演 631題

(2) 第68回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成26年5月30日(金)～6月1日(日) 北海道札幌市、江別市

北海道支部(準備責任者 原 博 北海道大学大学院教授)が開催担当支部として準備を進めてきた。

(3) 第69回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成27年度の本大会の開催担当支部及び開催地が12th ACNとの合同開催に向け、関東支部で横浜において実施予定となった(第2回理事会7/28決議)。

大会準備責任者として、鈴木 和春 東京農業大学教授が選任された(第2回理事会7/28決議)。

### 3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(5/18)が開催され、委員長・副委員長選任、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/8)が開催され、功労賞2件、学会賞3件、奨励賞2件、学術基金 研究助成対象者1件を推薦し理事会に上申した。他に委員会活動として、外部団体への学会長名での推薦2件を12月8日の各種授賞等選考委員会にて審査、3件をメール審査にて行った。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

- ①学術企画の支援として学会活動強化費申請(7件)のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。
- ②栄養・食糧学術基金助成の予備審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。

(4) 平成24年度表彰授与式開催

①平成24年度受賞者

功労賞(佐伯賞)	岸 恭一	橋詰 直孝	
学会賞	加藤 範久	柴田 克己	
奨励賞	瀬川 博子	都築 毅	比良 徹

②平成24年度栄養・食糧学術基金研究助成者

栄養・食糧学術基金研究助成	亀井 康富	小林 彰子
---------------	-------	-------

(5) 平成25年度対象の三賞候補者の公募、栄養食糧学術基金の助成対象者募集記事を学会誌4号に掲載した。学術基金 国際交流助成後期の応募をHP及びメールニュース掲載し、応募が7件あった。

(6) 表彰事業の協賛のため6企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞
(財)飯島記念食品科学振興財団/飯島食品科学賞	(公財)上原記念生命科学財団/上原賞
(財)木原記念横浜生命科学財団/学術賞	慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞
公益信託森喜作記念椎茸振興基金/森喜作賞	(財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞
(財)杉浦地域医療振興財団/杉浦地域医療振興賞	第一生命保険株式会社/保健文化賞
辻静雄料理研究所/辻静雄食文化賞	(財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、健康予防医療賞
(財)富山県ひとつくり財団/とやま賞	(公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞
(社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞	日本学術会議/井上春成賞
(独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞	日本看護協会/ヘルシー・ソサイエティ賞
(公財)日立環境財団/環境賞	福井県小浜市/杉田玄白賞
(公財)三島海雲記念財団	(公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞

②研究助成募集の周知

(財)飯島記念食品科学振興財団	やずや食と健康研究所
(公財)エリザベス・アーノルド富士財団	(公財)山田科学振興財団
(財)旗影会	うま味研究会
(財)サンスター財団	公益信託家政学研究助成基金
(財)杉浦地域医療振興財団	(公財)サッポロ生物科学振興財団
(公財)タカノ農芸化学研究助成財団	(公財)住友生命健康財団
(社)中央味噌研究所	(公財)ソルト・サイエンス研究財団
(公財)内藤記念科学振興財団	(公財)ダノン健康・栄養財団
(社)日本医師会	(公財)東洋食品研究所
(公財)日本食品化学振興財団	(財)日中医学協会
(社)日本酪農乳業協会	(公財)日本科学協会
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)	(公財)日本心臓財団
(公財)不二たん白質研究振興財団	農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課
(公財)本庄国際奨学財団	(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団
(財)ホクト生物科学振興財団	(公財)山崎香辛料振興財団
(公財)森永奉仕会	(株)山田養蜂場

(8) 外部団体への推薦

①公益財団法人三島海雲記念財団

各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦し、三島海雲学術賞を受賞

②財団法人木原記念財団横浜生命科学振興財団

- 各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦
- ③財団法人飯島記念食品科学振興財団  
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦し、飯島食品科学賞を受賞
- ④公益財団法人 森永奉仕会
- i) 平成23年度森永奉仕会研究奨励金受賞（平成24年5月23日受理）  
ii) 平成24年度森永奉仕会研究奨励金  
各種授賞等選考委員会にて審査の結果、1件を学会として推薦  
iii) 平成24年度森永奉仕会賞  
各種授賞等選考委員会にて審査の結果、1件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

- 第66回大会時に下記関連学術集会を支援
- ①第45回油脂・コレステロール研究会の開催  
②第20回スポーツ栄養学研究会の開催  
③栄養学若手研究者の集いの開催  
④第11回 Hindgut Club Japan サテライトミーティングの開催  
⑤カルノシン・アンセリン研究会の開催  
⑥平成24年度 家畜栄養生理研究会 春季集談会の開催

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記3テーマとも非常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。  
以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 栄養成分表示・栄養教育の検討

- ①消費者庁の「食品表示一元化検討会」が論議中であるので、検討会の結論を見極めてから委員会での協議を行うこととした。

(2) 食品アミノ酸データベースの検討

- ①新たな140食品についてデータを追加、その他のデータの確認・点検作業を行なった。

(3) 栄養・食糧学用語に関する検討

- ①用語辞典の見直しを進め、用語辞典 追補版の出版に向けて準備をした。

5) 国際交流事業

本事業は、国際交流委員会及び12th ACN組織委員会を通じ展開された。

(1) 第66回大会で招聘講師による招待講演、及び国際シンポジウムを実施

(2) 第67回大会の海外シンポジスト・招待者対応

- ①招待者講演として、韓国栄養学会（KNS）2012年度会長、IUNS事務局長を招聘  
②国際シンポジウムを企画し、海外シンポジスト3名を招聘

(3) 第12回アジア栄養学会議関係

- ①組織委員会 総務委員会を中心に大会運営、体制、会場、プログラム等準備活動を本格化  
②日本学術会議の共同主催を申請、内定通知を受理

(4) 第22回国際栄養学会議関係

- ①日本学術会議 IUNS 分科会から第22回国際栄養学会議（2021年）誘致の打診を受け、東京での開催をめざし立候補  
②FANS加盟各団体に東京開催の支援を要請

(5) その他

- ①韓国栄養学会（KNS）とのMOU締結：宮澤会長が韓国を訪問し署名式を実施（平成24年11月）、MOU交換式のためKNS会長を第67回大会に招待  
②中国栄養学会（CNS）からの要請を受け、2013 International Nutrition Science and DRIs Summitへの派遣講師を決定

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

- (1) 倫理審査申請依頼（申請番号75番）に基づき倫理審査委員会を開催（6/9）、審査結果に基づき再提出を求め、付帯条件を付け承認

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及（公2事業） >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 65 巻 2 号～6 号、66 巻 1 号

① 投稿状況

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	投稿数（うち採択数）	
					資料	速報
2011年4月	6(4)	0	5(3)	1(1)	0	0
2011年5月	2(1)	0	2(1)	0	0	0
2011年6月	4(2)	1(1)	3(1)	1(0)	0	0
2011年7月	7(5)	2(2)	2(2)	2(0)	1(1)	0
2011年8月	3(3)	3(3)	0	0	0	0
2011年9月	3(0)	0	3(0)	0	0	0
2011年10月	1(1)	1(1)	0	0	0	0
2011年11月	2(0)	0	2(0)	0	0	0
2011年12月	0	0	0	0	0	0
2012年1月	3(1)	0	2(1)	1(0)	0	0
2012年2月	1(0)	0	1(0)	0	0	0
2012年3月	3(2)	0	2(1)	0	1(1)	0
2012年4月	0	0	0	0	0	0
2012年5月	3(3)	0	1(1)	1(1)	1(1)	0
2012年6月	2(1)	1(1)	1(0)	0	0	0
2012年7月	4(3)	1(1)	2(1)	1(1)	0	0
2012年8月	5(5)	2(2)	2(2)	1(1)	0	0
2012年9月	5(3)	1(1)	3(2)	0	1(0)	0
2012年10月	5(3)	1(1)	1(0)	3(2)	0	0
2012年11月	1(1)	0	0	0	1(1)	0
2012年12月	2(1)	0	1(0)	1(1)	0	0
2013年1月	5(1)	0	4 <sup>注1</sup>	0	0	1(1)
2013年2月	1	0	1	0	0	0
2013年3月	4	0	4	0	0	0

注 1) 4 編のうち、3 編掲載否、1 編査読中

平均所要日数 掲載可：2011 年 4 月～2012 年 3 月：67 日、2012 年 4 月～2013 年 3 月：76 日  
掲載否：2011 年 4 月～2012 年 3 月：41 日、2012 年 4 月～2013 年 3 月：53 日

\*2011 年度 投稿論文 39 編  
採択率 54%（取り下げ除く）  
掲載可 19 編 掲載否 16 編  
取り下げ 4 編 審査中 0 編  
\*2012 年度 投稿論文 40 編  
掲載可 21 編 掲載否 10 編  
取り下げ 3 編 審査中 6 編

② 発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	書評	計
65-2	1	1	0	0	2	4
65-3	1	2	0	0	1	4
65-4	0	1	0	1	0	2
65-5	2	0	1	1	0	4
65-6	1	1	1	0	0	3
66-1	1	3	1	0	0	5
総計	6	8	3	2	3	22

③ 刊行状況

巻号	納本日	予定日
65-2	4月10日	4月10日

65-3	6月11日	6月11日
65-4	8月10日	8月10日
65-5	10月10日	10月11日
65-6	12月10日	12月10日
66-1	2月12日	2月12日

④日本栄養・食糧学会誌編集委員会の開催（5/18、11/17）

掲載可否判定前の最終チェック方法はJ-STAGE3画面のオンラインでできるように変更した。  
平成24年5月18日付で編集委員長ならびに編集委員のメンバーの半数が交代した。

⑤編集事務局の固定化

委員長交代ごとに編集事務局が移転していたが、編集事務業務の継続性等から学会事務局へその機能を移転した。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 58-No. 2~No. 6, Vol. 59-No. 1 の刊行

平成25年3月4日現在

理事会 資料提出日	Vol	年	分野別投稿数						分野別採択数						備考
			Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	R	Note	
3月20日	58	2012	23	4	14	5	1	3	22	2	16	4	0	6	58-2まで
5月17日			47	10	30	7	2	8	32	5	19	8	1	8	58-3まで
7月28日			73	12	52	9	1	10	44	6	27	11	1	12	58-4まで
10月20日			121	26	86	9	1	23	65	11	43	11	1	18	58-6まで
1月26日			153	33	107	13	1	28	65	11	43	11	1	18	58-6まで
3月16日	59	2013	27	6	17	4	0	4	23	6	15	2	0	6	59-2まで

Total は、V、N、Fの合計

(各号の内訳)							巻号
Total	V	N	F	R	Note		
11	0	10	1	0	2		58-2
10	3	3	4	1	2		58-3
12	1	8	3	0	4		58-4
10	3	7	0	0	3		58-5
11	2	9	0	0	3		58-6
11	3	7	1	0	3		59-1

JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁	審査中	可	否(取下を含む)
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数		投稿数	掲載数					
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11	81	531			
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538			
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470			
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460			
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	451	33	53	67

\* V、N、Fの合計

2012/12/31現在

採 択 日 数

	60日以内	90日以内	120日以内	180日以内	180日を超える	全採択数
2007年 (採択数)	15.4% 12	30.8% 24	28.2% 22	15.3% 12	10.3% 8	78
2008年 (採択数)	19.2% 15	30.8% 24	17.9% 14	28.2% 22	3.8% 3	78
2009年 (採択数)	29.9% 20	26.9% 18	13.4% 9	20.8% 14	9.0% 6	67
2010年 (採択数)	23.3% 17	19.2% 14	17.8% 13	32.9% 24	6.8% 5	73
2011年 (採択数)	17.9% 10	25.0% 14	25.0% 14	28.5% 16	3.6% 2	56

論 文 採 択 率

	投稿数	可	《採択率》	否	取下げ	他誌へ	審査中
2007年	134	78	58.2%	38	10	8	
2008年	154	78	50.6%	65	9	3	
2009年	165	67	40.6%	87	6	5	
2010年	172	73	42.4%	83	8	8	
2011年	167	56	33.5%	98	10	3	

論文採択率（国内・海外内訳）

	投稿数		可		採択率		否		取下げ		他誌へ		審査中	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外
2011年	106	61	50	6	47.2%	9.8%	49	49	5	5	2	1	0	0

②投稿数・掲載数ともに順調に推移。インパクトファクター上昇傾向が止まった。審査期間が短縮された反面、採択率が低下。特に海外論文の採択率が低い。

日本人の食事摂取基準の世界への発信を目的として英語版概要の作成が進められ、JNSV 誌の付録として掲載された。

③編集委員の交代（6名、うち1名は日本ビタミン学会推薦委員）

(3) 学会監修出版物

①「ロコモティブシンドロームと栄養」 田中 清、上西 一弘、近藤 和雄（編） 建帛社

2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

(1) 報道機関向け広報

第67回大会開催にあたり、報道機関へ事前に主なテーマについての発表（5/10）実施の準備

(2) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関（大学・官庁等）からの情報、依頼記事（募集・告知等）について、広報推進を行った。

①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的に及び緊急的に情報を掲載

②会員向けメールマガジン栄養ニュースは1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下16号発信

2012-4（通算110号 4/12）、2012-5（111号 5/12）、2012-6（臨時 5/16）、2012-7（112号 6/11）、  
2012-8（113号 7/10）、2012-9（114号 8/10）、2012-10（115号 9/10）、2012-11（116号 10/10）、  
2012-12（117号 11/9）、2012-13（118号 12/10）、2012-14（臨時 12/21）、2013-1（119号 1/10）、  
2013-2（臨時 2/4）、2013-3（120号 2/12）、2013-4（121号 3/11）

③国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

\*日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース（No. 339～No. 387）の周知の実施

\*日本医学会

シンポジウム等の開催周知協力の実施

(3) 学会マークの制定

会員及び一般からの学会マーク作品の募集記事を学会ホームページ、一般の公募サイトに掲載したところ、167件の応募があり、広報委員会、業務執行理事打ち合わせ、及び理事会で審査を重ね、臨時理事会で決定すべく選考を進めた。

### Ⅲ 管理業務報告

#### (1) 内閣府からの通知・連絡対応

##### ①内閣府より

- \*公認認定等委員会だより（その12～その20）受理
- \*メール通知「国からの補助金調査」（4/3 受理、4/4 回答）
- \*メール依頼「節電対策の取り組みについて」（6/19 受理、7/17 回答）
- \*メール通知「事業計画書等の提出」（3 か月前）の案内（1/1 受理）
- \*メール通知「事業計画書等の提出」（1 か月前）の案内（3/1 受理）
- \*メール通知「事業報告等の提出について」（3 か月前）の案内（3/1 受理）
- \*メール通知「事業計画書等の提出完了」（整理番号 1200156077）の案内（3/27 受理）

##### ②内閣府へ

- \*役員変更届を Web 上で提出（5/28）
- \*設立事業年度度事業報告書等を Web 上で送信（6/18）、報告内容につき内閣府の指摘を受け、修正、提出完了（10/1）

#### (2) 文部科学省

- \*平成 25 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術省及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（5/15 受理、6/11HP 掲載、7/23 回答）
- \*「第 2 回サイエンス・インカレ」の開催について（8/17 受理、9 月前半 HP 掲載）
- \*平成 25 年度（第 54 回）科学技術週間について（依頼）（3/4 受理）

#### (3) 厚生労働省

- \*【医薬品・医療機器安全性情報】No. 289～No. 300 の周知依頼

#### (4) 農林水産省

- \*日本食文化応援レター（2012. 4. 25 配信号～2012. 12. 21 配信号）
- \*日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会、今後の保護措置について（6/15 受理、6/20 回答）
- \*「日本人の伝統的な食文化」「食文化サポートマニュアル」（7/31 受理）

#### (5) 日本学術会議

- ①日本学術会議発行メールニュース（No. 339～No. 387）の周知
- ②生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③井上春成賞候補者推薦依頼周知

#### (6) 日本医学会

- ① [ibunka・ml] の周知
- ②日本医学会役員選出（4/4 受理、4/18 回答）
- ③日本医学会に関するアンケートの回答
- ④日本医学雑誌編集者会議（平成 24 年 11 月 21 日）への出席
- ⑤日本医学会分科会利益相反会議（平成 24 年 11 月 22 日）への出席
- ⑥日本医学会・医学用語委員会（平成 24 年 12 月 4 日）への出席
- ⑦日本医学会定例評議員会（平成 25 年 2 月 20 日）への出席
- ⑧第 29 回日本医学会総会（2015 年 関西）の周知

#### (7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・日本アミノ酸学会「日本アミノ酸学会第 6 回学術大会」協賛
- ・日本分析化学会「第 53 回機器分析講習会」協賛
- ・(公財)不二たん白質研究財団「公開講演会『大豆のはたらき in 大阪-食を通して健やかな人生を-』協賛
- ・(公社)日本油化学会関東支部「平成 24 年度第 3 回油化学セミナー」協賛
- ・東京大学総括プロジェクト機構「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援
- ・日本肥満学会「第 33 回日本肥満学会」後援
- ・(公社)日本油化学会「第 12 回基準油脂分析試験法セミナー」協賛
- ・(社)米穀安定供給確保支援機構「平成 24 年度食育健康サミット」後援
- ・神奈川工科大学「KAIT シンポジウム 2012」協賛
- ・日本毒性学会「第 40 回日本毒性学会学術年会」協賛
- ・国際カルノシンコンソーシアムとの連携「International Carnosine and Anserine Symposium」後援
- ・日本化学会「2015 環太平洋国際科学会議」後援
- ・日本臨床栄養学会・日本臨床栄養協会「第 35 回日本臨床栄養学会総会・第 34 回日本臨床栄養協会総会 大連合大会」後援
- ・(公社)日本油化学会関東支部「平成 25 年度第 1 回油化学セミナー」協賛
- ・日本糖質学会「第 32 回日本糖質学会年会」共催
- ・食品ハイドロコロイド研究会「第 24 回食品ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー 2013」協賛
- ・日本工学アカデミー「日本農業の現状と未来」協賛

- ・タマゴ科学研究会「第1回タマゴシンポジウム」後援
- ・APCCN2013「Health Promotion through Food and Nutrition: Integrated Science and Art」共催
- ・(公社)ダノン健康栄養財団「第15回ダノン健康栄養フォーラム」後援

#### IV 総会、理事会、等の開催状況

##### (1) 社員総会

平成24年 5月18日(金) 8:50～9:50 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

##### (2) 理事会

平成24年 5月17日(木) 13:30～18:15 ハーネル仙台  
 平成24年 7月28日(土) 13:00～16:00 お茶の水女子大学  
 平成24年 10月20日(土) 13:30～16:30 お茶の水女子大学  
 平成25年 1月26日(土) 13:30～16:30 お茶の水女子大学  
 平成25年 3月16日(土) 13:30～16:30 お茶の水女子大学

##### (3) 臨時理事会

平成24年 4月28日(土) 13:30～16:30 お茶の水女子大学  
 平成24年 5月18日(金) 10:00～10:20 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

##### (4) 業務執行理事打合せ

平成24年 6月9日(土) 10:30～13:00 お茶の水女子大学  
 平成24年 7月28日(土) 11:00～12:30 お茶の水女子大学  
 平成24年 9月30日(日) 11:00～14:00 お茶の水女子大学  
 平成24年 10月20日(土) 11:00～12:30 お茶の水女子大学  
 平成25年 1月12日(土) 11:00～14:00 お茶の水女子大学  
 平成25年 3月3日(日) 11:00～14:00 お茶の水女子大学

##### (5) 名誉会員・顧問懇談会

平成24年 4月14日(土) 11:00～13:00 茗溪会館

##### (6) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成25年 1月12日(土) 11:45～12:15 お茶の水女子大学

##### (7) 日本栄養・食糧学会あり方検討委員会

平成24年 7月28日(土) 9:30～11:00 お茶の水女子大学  
 平成24年 9月30日(日) 14:00～16:00 お茶の水女子大学  
 平成25年 1月12日(土) 10:00～11:00 お茶の水女子大学